

<h2 style="text-align: center;">呼子大橋</h2> <p style="text-align: center;">～しあわせの夢の架け橋～</p>	分野 産業
	地域 呼子
<p>呼子大橋は、イカで有名な漁港呼子と佐賀県の西北部に位置し、本土との最短距離550m、面積2.68平方キロメートル、人口777人、世帯数187戸からなる加部島を結ぶ全長728mの斜張橋である。平成元年に開通した。総工費約42億と言われている。</p> <p>本建設事業は、呼子町本土と離島加部島周辺の海上交通輸送依存からくる種々の阻害要因を架橋建設によって、通輸送の効率化、円滑化を図り、生活利便の増大、農業施設の統合近代化をねらい行われた。また、農業の面からも、上場土地改良事業によって土地基盤が整備された140haの農地から生産される農作物の加工、流通を総合的、機能的な輸送計画に基づき、高生産性の農業を実現し、農家経営の充実安定を図る上でも、大変有効的ねらいを持つと言われている。</p> <p>用水不足解消のため国営事業で建設された打上ダムからのパイプラインの布設は架橋と同時に共同工事として加部島側へ連結された。</p> <p>建設当時においては、コンクリート橋では浜名大橋の240mを10m上回り我が国最大のスパンを持つ架橋だった。想定以上の地震に対しても安全なように主塔橋脚上にコンクリート製ストッパーが設けられ、地震時の過大な水平変位を押さえるなどの工夫がなされている。</p> <p>景観</p> <p>加部島側の橋の下から見る朝日は最高である。（特に3月上旬がお勧め）また、唐津市呼子支所付近から見た呼子大橋の向こうに沈む夕日は、観光客にロマンを感じさせるスポットである。呼子大橋下にある弁天島は、遊歩道が整備されており磯遊びを楽しむことができる。</p> <p>加部島に渡ると、一番のお勧めは、「風に見える丘公園」で、展望台から呼子大橋方面を見下ろす景色は最高である。北側には平戸から福岡までの玄界灘が広がり、遠く杵岐までの眺望が開けている。夜は、呼子港の美しい夜景を見ることができる。</p>	◎地図・写真・統計資料など
	 <p style="text-align: right;">(唐津新聞社より)</p>
◎エピソード・伝承・うんちく など	◎引用・参考文献（出典）
<p>昭和63年度 土木学会 田中賞受賞 昭和63年度 プレストレストコンクリート技術協会作品賞受賞 平成元年度 農業土木学会上野賞受賞</p> <p>■呼子大橋 橋長：727.85m、スパン：121.0m+250.0m+121.0m（主橋部） 有効幅員：5.5m+2.0m、形式：3径間連続PC斜張橋（サスペンデッドタイプ）</p> <p>昭和63年度 土木学会田中賞受賞 昭和63年度 プレストレストコンクリート技術協会作品賞受賞 平成元年度 農業土木学会上野賞受賞</p> <p>佐賀県の玄界灘に面した東松浦半島、呼子町殿ノ浦と離島・加部島を結ぶ本橋は、我が国最大（世界11位）のPC斜張橋です。今までフェリーに依存していた交通、生活用水と農業用水の安定供給を目的に計画されました。平成10年の新佐賀百景に選ばれた。</p> <p>■名護屋大橋 橋長：258m(径間176m) 橋幅(有効幅):6m PCラーメン桁橋 鎮西町に大きく彫り込まれた名護屋浦をまたいでいる。 昭和42年竣工当時、桁橋としては世界第二位の長さを誇っていた。呼子大橋と違い、実用本位で華美もないけど、桁がつくる薄いアーチが、呼子大橋よりも落ち着いて見える。</p> <p>■外津橋 佐賀県唐津市と玄海町を隔てる外津浦にかかる橋である。世界で初めてとなるトラス張出し工法によって造られたアーチ橋であり、橋長は252メートルである。この橋を建設した三井住友建設は土木学会田中賞を受賞した。</p>	<p>◆しあわせの橋巡り「呼子エリア観光マップ」 ※「自然」の部「弁天島の呼子岩脈群」参照</p> <p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へお問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsucity.jp/hp/cnts_lib/index.htm</p>
◇唐津の魅力継承事業◇	